

飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

(このニュースレターは飯豊連峰保全連絡会会員各位とこれまでの会議や作業に参加頂いた皆様にお送りしています)

発行者：飯豊連峰保全連絡会

■飯豊連峰保全連絡会 合同保全作業の報告について

平成 24 年 9 月 22 日 (土)、飯豊連峰の梶川尾根上部において飯豊連峰保全連絡会第 9 回会合で決定された合同保全作業を行いました。

22 日天狗平ロッジに集合し、飯豊連峰保全連絡会の技術部会メンバーを中心とした班に分かれ、施工地まで剣スコップや番線等の資材の荷上げを行いました。

施工地到着後は班ごとに分かれて以下の作業を行いました。

作業箇所①：標高約 1,780m の大規模裸地部付近

当該箇所は平成 21 年度、平成 22 年度の合同保全作業地であり、ガリー侵食部に土留め工を設置したことによる土砂の堆積などの効果が確認できましたが、一部新たな侵食が発生していました。また、登山道の拡幅により以前の作業で固定した歩行路が不明瞭になっていたほか、緑化ネットからは芽吹きが確認されたものの、緑化ネット自体が風化している状況でした。

- 登山者の歩行と流水の相互作用による荒廃を可能な限り低減することを目的に、歩行路と流水路を分けました。現地転石を用いたステップの作成及び緑ロープやヤシ繊維、緑化ネット等を利用し、歩行路を明瞭化しました。流水路では表流水の集中の防止と流水速度の低減のため、現地転石とヤシ製土嚢袋やヤシ製緑化ネット、ヤシ繊維等を用いて土留工と水切り工を設置しました。要所には植生部と裸地部にヤシ製緑化ネットを設置して法面保護を図り、上から麻製緑化ネットを敷設しました。
- 風雪により風化した緑化ネット敷設箇所には、事前に許可を得て周辺植物から採取した種子を播種し、新たに麻製緑化ネットを敷設しました。



ヤシ製緑化ネットによる土留工



麻製緑化ネット敷設

作業箇所②：標高約 1,720m～1,780m 付近のガリー侵食部周辺

当該箇所は、雨水や踏圧等によって登山道が一部拡幅し、ガリー侵食が生じています。

- 拡幅箇所では、登山者の歩行と流水の相互作用による荒廃を低減することを目的に、歩行路と流水路を分けました。緑ロープやヤシ製緑化ネットを利用して歩行路固定を行い、裸地部には緑化ネットを敷設しました。流水路には表流水の集中の防止と流水速度の低減のため、現地転石とヤシ製土嚢袋とヤシ繊維を用いて土留め工と水切り工を設置し、流水コントロールを図りました。
- 拡幅箇所下部の歩行路と流路が一体化している箇所では、現地転石とヤシ製土嚢袋による土留工によって土砂堆積を図りつつ歩行路を確保しながら、流水コントロールを図りました。



歩行路と水路の分け作業



ヤシ繊維と土嚢袋による土留工設置



作業後の振り返り



作業後の記念撮影

作業終了後にはどこでどのような意図を持って作業を行ったのか把握し、来年度の活動に繋げるために全員で施工箇所の確認を行いました。

今回の作業では天候に恵まれ、各自が役割分担をして作業を行いました。作業時間の確保が不十分であるなどの課題が残りました。事前の緑化ネット等の資材の荷上げには、毎週のような荷上げして下さった方や事前準備を手伝いたいと多くの方が駆けつけてくださいました。今回の作業に関わって頂いた飯豊連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、地域関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。《当日は、22 団体、53 人の参加がありました》

※飯豊連峰保全連絡会の会則や過去のニュースレター等については、以下の URL から閲覧できます。

<磐梯朝日国立公園内 各種資料>

<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>

<東北アクティブレンジャー日記>

<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

【発行者】飯豊連峰保全連絡会

(事務局) 羽黒自然保護官事務所(坂本、佐々木)

〒997-0141

山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777

FAX : 0235-62-4537

E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp